

# 輝 SONODA SPORTS PRESS

**園田学園女子大学**  
園田学園女子大学短期大学部  
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

学部・学科  
人間健康学部 総合健康学科 人間教育学部 児童教育学科  
人間看護学部 人間看護学科 短期大学部 生活文化学科  
食物栄養学部 食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター  
TEL 06-7507-1813 FAX 06-7507-1814  
URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html>  
instagram sonodauniv



女子リレー日本代表候補の稲岡

**勝負強さ光るー那須**  
2018年6月の日本選手権で4m00を跳んで2位

女子棒高跳の那須真由(総合健康学科4年)が、2018年9月の日本学生対校選手権(インカレ)で3m90に成功し、大会2連覇に輝いた。インカレでは他に400mの稲岡真由(食物栄養学科4年)が54秒44で4位に入賞。400m・1600m両リレーも入賞した。

前回は3m90を跳ばなければ試技数差で4位になってしまふ状況乗り越えて初優勝した那須。他の2人が先に3回目を失敗し、棒高跳のピットは重苦しい雰囲気にも包まれたが、那須は勝負強さと高い集中力で、3m90を見事にクリア。実力で2連覇をもの取り取った。



インカレV2の那須(写真は日本選手権)

## 陸上競技部 インカレ女子棒高跳 那須 連覇

に入った那須(写真)。インカレは「連覇」に照準を定めて臨み、3m70、3m80とともに1回目に成功させ、優位に立った。勝負どころは3m90。那須を含む3人が挑戦し、いずれも2回目も失敗。チャンスはあと1回の展開になった。

400mでは前回5位の稲岡がメダルへあと一歩の4位。準決勝では兵庫学生新記録となる54秒07をマークした。稲岡は400mリレー、1600mリレーにも出場。それぞれ8位、7位の入賞にも貢献した。さらに稲岡は東京五輪で女子リレー出場を目指す日本陸連のセレクションに参加。1600mリレーの第1期代表候補に選出された。今後、アジア選手権(4月)や世界リレー(5月)のメンバー入りを狙う。また、インカレに先立って行われた西日本学生では三段跳の宮畑さくら(総合健康学科4年)が12m73の兵庫学生新記録で優勝した。チームを引っ張った4年生が抜ける来季は、インカレ400m障害7位の横田華恋(食物栄養学科2年)、関西学生新人100mを大会新で制した平田未来(総

- ### 主要大会上位成績
- ◆日本選手権
    - ▽女子棒高跳2那須4m00
    - ▽西日本学生対校選手権(3位以内)
      - 400m①稲岡54秒68
      - 400mハドル③横田1分00秒64
      - 400mリレー③近藤 稲岡 鈴木 平田未来
      - 46秒62
      - 1600mリレー①栗谷 横田 堀出 稲岡3分44秒46
      - 三段跳①宮畑12m73
  - ◆日本学生対校選手権
    - 400m④稲岡54秒44
    - 400mハドル⑦横田1分00秒03
    - 400mリレー⑧近藤 稲岡 鈴木 平田未来
    - 46秒04
    - 1600mリレー⑦堀出 横田



鈴木から平田へバトンリレー

- ◆関西学生対校選手権(3位以内)
  - 400mハドル②野田1分01秒24
  - 400mリレー①藤原 平田未来
  - 400mリレー①藤原 平田未来
  - 46秒99
  - 1600mリレー②後藤 野田 安達 六戸3分52秒25
  - 棒高跳②平田美和3m40
  - 砲丸投①岩木13m73
  - 円盤投③松本35m61
  - やり投①栗原46m16
- ◆関西学生女子駅伝「6区間30・0km」
  - 園田大④1時間56分54秒(今枝 播磨 袴田 山本 清水 佐藤)
- ◆日本選手権リレー
  - 400mリレー⑧近藤 稲岡 平田未来
  - 宮本46秒21



## バレーボール部 リーグ健闘 1部残留決める

園田大はリーグ戦2部で初戦から8連勝。9戦目の関大戦は第1ピリオドを24対18でリードするも、徐々に追い上げられ67-67で延長戦へ。ここで園田大は流れを取り戻し、5点差をつけた。残り2戦も連勝し、園田大が2部全勝優勝をやつてのけた。

余勢を駆って臨んだ1部校との入替戦。1戦目は快勝したが、2戦目は第3ピリオドを終えて38-49と劣勢に立たされた。しかし、練習通りに声を出し、ムードを立て直して攻めに攻め、第4ピリオドは24-8。大逆転劇を演じた。

新チームに「1部昇格」をプレゼントした主将の下吹越紗羅(総合健康学科4年)は「1部昇格の夢を叶えるために、『挑戦』を掲げ、ウエイトトレーニングや厳しいメニューにも挑戦してきました。最後まで私たちを信じて見守ってくれた畑岸監督、岩村コーチ

- ### 大会成績
- ◆西日本インカレ
    - ▽決勝トーナメント1回戦
      - 園田大①-② 京都産業大
      - 園田大②-③ 京都市立大
      - 1次リーグAブロック
        - 園田大①-③ 関西大
        - ①-③ 天理大
        - ②-③ 神戸親和
        - ③-③ 大阪学院大
    - ▽2次下位リーグ
      - 園田大③-① 武庫川女大
      - ③-③ 大阪国際大
      - ③-① 大坂体育大
      - ③-① 若尾大
      - ③-① 大坂学院大
    - ◆最終成績 1部10位 残留
    - ◆関西インカレ
      - 園田大①-① 流通科学大
      - ①-② 大坂体育大
    - ◆全日本大学女子選手権
      - ▽1回戦 ③-① 神奈川大
      - ▽2回戦 ①-③ 京都橋大

## バスケットボール部 リーグ戦 1部昇格決定 2部全勝Vの勢いで



バスケットボール部が健闘した。関西女子学生リーグ2部を全勝優勝すると、1部校との入替戦で2連勝して1部昇格を決めた。続く関西女子学生秋季トーナメントではAチームが3位、Bチームが8強に勝ち上がるなど、園田大の存在感が光った。

18でリードするも、徐々に追い上げられ67-67で延長戦へ。ここで園田大は流れを取り戻し、5点差をつけた。残り2戦も連勝し、園田大が2部全勝優勝をやつてのけた。

余勢を駆って臨んだ1部校との入替戦。1戦目は快勝したが、2戦目は第3ピリオドを終えて38-49と劣勢に立たされた。しかし、練習通りに声を出し、ムードを立て直して攻めに攻め、第4ピリオドは24-8。大逆転劇を演じた。

新チームに「1部昇格」をプレゼントした主将の下吹越紗羅(総合健康学科4年)は「1部昇格の夢を叶えるために、『挑戦』を掲げ、ウエイトトレーニングや厳しいメニューにも挑戦してきました。最後まで私たちを信じて見守ってくれた畑岸監督、岩村コーチ

- ### 大会成績
- ◆関西女子学生リーグ戦(女子2部)
    - 園田大①-④ 大阪産業大
    - ①-② びわろ大
    - ①-③ 大阪教育大
    - ①-③ 龍谷大
    - ①-③ 大阪大谷大
    - ①-③ 京都学園大
    - ①-③ 神戸親和
    - ①-③ 京都教育大
    - ①-③ 関西大
    - ①-③ 京都産業大
    - ①-③ 同志社女大
  - ◆1部・2部入替戦
    - 園田大①-⑦ 関西外大
    - ①-② 62-57
  - ◆園田大が1部昇格
    - ☆園田大が1部昇格
    - ☆2部全勝優勝
  - ◆関西女子学生秋季トーナメント(2部1次リーグ)
    - 2回戦
      - 園田大A①-② 大阪国際大
      - 園田大B⑦-④ びわろ大
    - 3回戦
      - 園田大A①-② 京都産業大
      - 園田大B⑤-⑤ 関西大
    - 準々決勝
      - 園田大A①-⑦ 京都教育大
      - 園田大B⑥-⑤ 大阪大谷大
    - 準決勝
      - 園田大A①-⑤ 関学大
      - 3位決定戦
        - 園田大A①-⑦ 大阪大谷大



# “年間完全制覇”にあと1勝

## 関西リーグ&西日本大学ソフトボール部 インカレ2位も



2018年シーズン、ソフトボール部は春季・秋季の学生リーグ、西日本大学選手権を制覇したが、最大目標の全日本大学女子選手権（インカレ）は2年連続の準優勝という悔しい結果に。「日本一」の称号を取り戻すための戦いがまた始まる。

2017年シーズンにインカレ2連覇を阻まれたソフトボール部。2018年シーズンは「日本一奪還」を掲げて戦った。

8月の西日本大学を3連覇した勢いで臨んだインカレ。決勝までの全試合を完封勝ちし、迎えた決勝は日体大と対戦した。園女大は2回に1点を先制し、その裏に逆転を許すも、5回に同点、6回に代打・白石望美（総合健康学科3年）の適時打で1点を加えた。しかし、1点リードの7

回、同点とされた後に満塁策を取ったが、サヨナラ負けを喫した。決勝までの4試合で本塁打2本、三塁打1本、二塁打2本の下山絵里（同2年）ら打撃陣が抑えられたことも痛かった。

新チームの主将・加藤亜実（同3年）は「42人全員で挑んだ結果。悔しいですが、後悔はありません。個々の技術をもっと向上させなければ、全国の舞台で良い成績は残せないと思います」と話し、「絶対に日本一」を固く誓った。

秋季リーグでは投打で他チームを圧倒し、1部の優勝回数を17季連続47回目に伸ばした。

### 大会成績

◆西日本大学選手権 園女大

- 15回戦 安田女大
- 2回戦 太成学院大
- 準々決勝 中京学院大
- 準決勝 中京大
- 決勝 東海学園大

◆全日本大学選手権 園女大

- 6回戦 富士大
- 2回戦 東海大
- 準々決勝 日本文理大
- 準決勝 東京女体大
- 決勝 日本体育大

◆平成30年度秋季関西学生リーグ（1次予選リーグ）

- 3回戦 立命館大
- 7回戦 武庫川女大
- 8回戦 太成学院大
- 1回戦 奈良学園大

（9回タイブレーク）

- 2回戦 大阪青山大
- 1回戦 園女大

（8回タイブレーク）

- 7回戦 龍谷大
- 6回戦 神戸親和女大
- 2回戦 大阪大谷大

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

8月の全日本大学女子野球選手権で5連覇中の日体大を破って8強に進出。準々決勝ではタイブレークで惜敗したがチームがさわやかプレー賞、エースの神村江莉香（食物栄養学科2年）が最優秀投手賞、主将の宮武千里（総合健康学科3年）が優秀選手賞を受賞し、大会を盛り上げた（両選手は女子軟式野球ジャパンカップの大学選抜チームに選出）。宮武は「日体大の6連覇を阻止できてうれしかった。試合中も全員が笑顔を忘れず団結していました」と振り返り、来季は全国4強の目標を掲げた。

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

チームが優勝し、個人では廣崎真帆（総合健康学科2年）が3位入賞。関西では菰口美紗（児童教育学科2年）と上山ゆうら（総合健康学科2年）が16強まで勝ち上がった。

主将の落合空（児童教育学科3年）は「惜しいで終わるのではなく、粘り強く、勝ち切れるチームを作りたい」と決意を掲げた。



### 小池が全日本学生8強

全日本学生選手権で小池颯紀（総合健康学科3年）がシングルスで8強に進出。渡邊はるか（同4年）と組んだダブルスでは16強に進んだ。小池は続く関西学生選手権でシングルス初優勝を飾り、小池・東谷和（児童教育学科1年）組もダブルスを制した。チームは関西大学対抗

### 大会成績

◆全日本学生選手権

- ▽シングルス ベスト8 小池
- ▽ダブルス ベスト16 渡邊・小池

◆関西学生選手権

- ▽シングルス優勝 小池
- ▽ダブルス優勝 小池・東谷
- ◆関西大学対抗リーグ戦（女子1部） 園女大 ○4-1 関学大
- 3-2 大阪教育大
- 1-4 関西大
- 2-3 姫路大
- 5-0 甲南大

◆全日本大学対抗選手権決定試合

- ▽2回戦 園女大 ○5-0 中京大
- ▽準決勝 園女大 ○1-4 亜細亜大
- ▽3回戦 園女大 ○2-3 関西大
- ◆全日本学生室内選手権
- ▽シングルス ベスト8 小池
- ▽ダブルス ベスト8 小池・東谷



### 大会成績

◆関西学生優勝大会

- ▽1回戦 園女大 ○●● 佛教大
- ▽2回戦 園女大 ○●● 立命館大
- ◆個人戦 3位 廣崎真帆
- ◆兵庫学生新人大会
- ◆団体戦 優勝 園女大
- ◆関西学生新人大会
- ▽1回戦 新田 ○●● 塚本（同大）
- ▽2回戦 新田 ○●● 岡森（滋賀大）
- 白神（京産大）
- 奥平（京産大）
- 山口 ○●● 露口（兵庫県大）
- 山本（姫路協大）
- 萩野（近大）
- 野中（甲南大）
- 長谷川（京産大）
- 山根 ○●● 大西（関学大）
- 岡崎（関学大）

### 大会成績

◆関西学生優勝大会

- ▽1回戦 園女大 ○●● 佛教大
- ▽2回戦 園女大 ○●● 立命館大
- ◆個人戦 3位 廣崎真帆
- ◆兵庫学生新人大会
- ◆団体戦 優勝 園女大
- ◆関西学生新人大会
- ▽1回戦 新田 ○●● 塚本（同大）
- ▽2回戦 新田 ○●● 岡森（滋賀大）
- 白神（京産大）
- 奥平（京産大）
- 山口 ○●● 露口（兵庫県大）
- 山本（姫路協大）
- 萩野（近大）
- 野中（甲南大）
- 長谷川（京産大）
- 山根 ○●● 大西（関学大）
- 岡崎（関学大）

### 剣道部 兵庫学生 新人団体優勝

剣道部は団体戦で行われる関西学生優勝大会の2回戦で敗退。全日本学生優勝大会には進めなかった。兵庫と関西、各新人大会では来季に期待できる結果に。兵庫では団体戦でA

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

### 大会成績

◆全日本大学女子選手権 園女大

- 1回戦 ○14回 富山国際・富山製大
- 2回戦 ○2回 日体大
- 準々決勝 ○2回 至善館大
- （8回タイブレーク）

Special Message

園田アスリートの旅立ちの春

根本 七海さん  
ソフトボール部  
食物栄養学科  
藤村女子高等学校出身  
株式会社ロック・フィールド就職